

鷹巣の子 9月

令和3年度
鷹巣幼小学校 学校だより
第6号 9月29日発行
E-mail: takasu-j@fukui-city.ed.jp

9月21日(火)は中秋の名月で、福井でも満月を見て楽しむことができました。また、台風14号が17日～18日にかけて西から東に日本列島を通過しました。九州や四国では大雨が降った地域もあったようですが、大きな被害がなくほっとしました。

さて、長かった1学期もあと少しで終わります。新型コロナウイルス感染症対策として、大きな声を出して遊んだり、歌ったり、みんなで近づいて話し合ったりする活動に制限がありできませんでした。特に夏休み明けからは、今まで以上に気を張って生活してきましたが、やっと全国的にコロナウイルス感染者数が減少し、落ち着きを取り戻しつつあります。2学期を新たな気持ちで迎えられるよう、1学期のまとめをしっかりとしましょう。

各学年の活動

幼稚園 砂浜で貝殻拾い

1年生と一緒に、砂浜へ貝殻拾いに行きました。いろいろな種類の貝殻やシーグラスをたくさん見つけました。素敵なアート作品に挑戦する予定です。



1年生 船作り

牛乳パックやトレーを使って船作りをしました。輪ゴムの力でスクリューがまわり、動く船ができました。それぞれが飾りづけをして、すてきな船になりました。



2年生 図工の作品完成

くしゃくしゃにした紙袋の中に新聞紙をつめて、お気に入りの形を作りました。かわいい友達がたくさんできました。



3年生 市防災センター見学

社会科で学習している防災のことについて、市の防災センターに行き見学をしました。起震車で地震体験をして、地震の時の行動を練習することができました。



4年生 福祉体験

総合的な学習で福祉体験をしました。15日には車椅子・シニア・アイマスク体験、22日には障がい者スポーツとしてフライングディスクと車椅子サッカーを体験しました。



5年生 ミシン練習

初めてのミシンに挑戦しました。最初はゆ〜っくりミシンがけしていましたが、練習しているうちに速くきれいに縫えるようになりました。



6年生 体育大会練習スタート

10月7日(木)に予定されている体育大会に向けて、計画や練習が始まりました。今年は6年生だけの応援になりますが、がんばっています。



令和3年度 全国学力・学習状況調査結果の報告と今後の取り組みについて

「全国学力・学習状況調査」が、本年度は、5月27日に6年生を対象として実施されました。国語と算数において、基礎的な問題から複合的な問題まで取り組みました。先日、調査結果の概要が発表されたのにあわせて、次のように本校の結果と今後の取り組みについてまとめましたのでお知らせします。

(1) 各教科の結果概要

- ①国語では、「思考力・判断力・表現力等」を問う問題のうち、「書くこと」で正答率が高く、学習の成果が見られました。一方、「知識及び技能」を問う問題のうち「言葉の特徴や使い方に関する事項」や「思考力・判断力・表現力等」を問う問題のうち、「読むこと」で正答率が低く、課題が残る結果となりました。具体的には、自分の考えをまとめて書くことはできたものの、語彙が少ない、正確に語彙を使えない、文章から内容を正確に読み取れない、という課題が見られました。
- ②算数では、「学習指導要領の領域」のうち、「数と計算」「測定」は全国平均を上回る解答率であり、特に基本的な計算は正答率が高かったです。一方、「学習指導要領の領域」のうち、特に「図形」では、課題が残る結果となりました。具体的には、かけ算やわり算などの基本的な計算や、時間や距離を求める問題に強いものの、図形の面積を求める問題や図形の組み合わせを考える問題が苦手である、という課題が見られました。

(2) 各教科の考察

今回の調査結果は、日頃児童が一生懸命に学んだ力を発揮した結果です。よく頑張っているのがわかります。しかし、内容を詳しく見てみると問題によっては力が不足している部分があることもわかりました。下にその具体的な課題を整理し、今後の対策の具体例を示しました。これは、6年生の結果ですが、他の学年に共通することも多く、全校の課題ととらえながら、学年に応じた改善も試みたいと思います。

〈国語〉【○は良好であること ●は課題であること】

- 資料を用いた目的を理解し、何のためにその資料を使ったかが読み取れている。
- 自分の主張が明確に伝わるように、文章全体の構成や展開を考えることができています。
- 目的に応じ、文章と図表とを結び付けて、必要な情報を見付けることが不十分である。
- 文の中における主語と述語との関係や、修飾と被修飾との関係を捉えることが苦手である。
- 漢字の読み・書きで定着が低いものが見られた（転がって、積み重ね、原因）。

〈算数〉

- 二つの道のりの差を求めるために必要な数値を選び、その求め方と答えを記述できている。
- 速さが一定であることを基に、道のりと時間の関係について考察することができている。
- 商が1より小さくなる等分除（整数）÷（整数）の場面で、場面から数量の関係を捉えて除法の式に表し、計算をすることができている。
- 三角形の面積の求め方について理解が不十分な児童が多い。
- 複数の図形を組み合わせた平行四辺形について、面積を求めることが苦手な児童が多い。

(3) 今後の指導について

今後国語と算数では、以下の点に留意して学習指導を進めていきます。

- | | |
|------|---|
| 国語…… | ①読書活動の充実のために、朝の読書タイムを確保し、読書に親しませる。
②NIE学習とも絡めて子ども新聞を使い、読み取りの練習を行う。
(朝のわくわくタイムで新聞を読み、問題に答える練習をする。)
③漢字や言葉の学習を日常的に行い、定期的に定着度を調査する。 |
| 算数…… | ①図形を用いる学習では、大きさや長さを意識したり、共通点を見つけたりして、操作活動を多く取り入れ、理解が進むようにする。
②学習の動機づけや授業の導入を工夫し、児童の学びへと向かう姿勢を大切にする。 |